

平成 27 年度芸術文化創造センター整備推進委員会  
第 1 回会議 議事録

日時：平成 27 年 8 月 30 日（水） 18:00～20:00

場所：小田原市民会館 第 7 会議室

出席者

[ 委員 ]

	氏 名	選出区分	所属等
委員長	仙田 満	施設設計（建築学） 都市計画（環境デザイン）	東京工業大学名誉教授 （株）環境デザイン研究所会長
副委員長	井上 允	劇場運営（市民活動）	元厚木市文化会館館長
委員	市来邦比古	舞台設備（舞台音響）	日本舞台音響家協会副理事長
委員	勝又 英明	施設設計（建築計画）	東京都市大学教授
委員	桑谷 哲男	劇場運営（劇場技術）	座・高円寺館長
委員	桧森 隆一	文化政策（アートマネジメント）	北陸大学副学長
委員	三ツ山一志	劇場運営（展示系）	横浜市民ギャラリー主席ディレクター （公財）横浜市芸術文化振興財団

梶委員は所用のため欠席

[ 事務局 ]

所 属	役 職	氏 名
	市長	加藤 憲一
文化部	文化部長	諸星 正美
文化部	文化副部長	安藤 圭太
文化部文化政策課	文化政策課長	中津川 英二
文化部文化政策課	文化芸術担当課長	間瀬 勝一
文化部文化政策課	専門監	砂川 哲朗
文化部文化政策課	芸術文化創造センター整備係長	和田 芳廣
文化部文化政策課	芸術文化創造センター整備係主査	府川 幸司
文化部文化政策課	芸術文化創造係長	湯川 裕司
文化部文化政策課	芸術文化創造係主査	大木 健一
建設部建築課	建築係長	村越 健二
建設部建築課	建築係主査	杉山 和人
建設部建築課	建築係主任	鶴井 雅也

[ 事務局補 ]

所 属	氏 名
空間創造研究所	瓜生 陽

[ 傍聴者 ]

3 名

## 1. 開会

事務局

(事務局紹介)

(委員委嘱)

加藤市長

芸術文化創造センターの整備の進捗については、予定どおりであれば施行の事業者が決定している頃だったが、残念ながら入札不調という結果になり、忸怩たる思いでいっぱいである。全国的にも入札の不調が相次いでいる厳しい時期である。この状況を乗り越えるために、委員の皆様にも助言をいただきたい。

財政は厳しい状況にあるが、芸術文化へ投資するということが今後の小田原市にとって非常に大切である。今一度、本事業が果たすべき役割を反芻しながら、この状況を乗り越えていきたい。

この局面を突破するためには、市民の皆様とも力を合わせる事が重要である。よろしくお願ひしたい。

## 2. 各委員あいさつ

市来委員

本事業には基本構想を策定する前の段階から継続して関わっている。

市民の皆様との検討を重ねた結果、バランスのとれたホールが設計されたと思うが、入札不調となり残念である。

舞台技術者として見ると、市民会館は老朽化も激しく、市民が長きに渡り活動することには危険な部分もある。新たな市民ホールを検討することは必要不可欠であり、市民が文化創造活動を行える場を一緒に作りあげていきたいという思いでやってきた。

私は舞台の運営が専門なので、舞台技術だけでなく運営に関してもお手伝いできたらと思っている。芸術文化創造センターの開館まで力を尽くしていきたい。

井上委員

芸術文化創造センターには3年前から関わっている。それ以前は30年に渡り厚木市文化会館の館長を勤めていた。厚木市文化会館には建設段階から携わり、設計者から設計思想を聞きながら、どう施設を維持管理していくかということに努め、ソフトとハードの両面から管理運営を行ってきた。

実施設計段階では、小田原の文化創造の場として良い施設になるという期待を持ちながら検討を進めてきた。

小田原には、これから杉本博司氏が進めてきたプロジェクト「(仮称)小田原文化財団 江の浦コンプレックス」に能舞台が造られるということも伺っている。そのような施設がで

きると外国人来場者も多くなる。

小田原市を文化の面で持ち上げていくのは芸術文化創造センターだと思っている。ハードもだがソフトにも力を入れて、小田原の文化の発展に手伝いが出来ればと思っている。

#### 勝又委員

この度の入札は建設コストが高騰しているために不調となったが、時間をおくとまたコストが上がる可能性がある。個人としては、なるべく早く建設したほうが良いと考えている。また市民会館も老朽化しており、継続した活動に危険が生じるのであれば、早く建て替えないとならない。出来る限り協力したい。

#### 桑谷委員

座・高円寺の館長を務めている。これまでに4つの公立劇場の立ち上げと運営に関わってきた。この度、整備推進委員会委員のお話しをいただき、委員として今後の小田原の設計プランに向けて良い発言が出来ればと思っている。

#### 仙田委員

設計者選定委員会の審査委員長を務めた。今日は日本全体が大変な情勢の中におかれている。状況は違うが、現在国立競技場の建設においても紛糾している。建築家も一生懸命仕事をして上手く設計から建設へと橋渡しができず、歯痒い思いをすることもある。設計者選定に関わったものとして、そして建築家として小田原市が困難を乗り越え、市民の皆さんが納得できる着地に向けてお手伝いできればと思う。

#### 桧森委員

本事業には足かけ7年間関わっている。私は4月から金沢市に赴任している。金沢市にいと、芸術文化が地方の創生にいかにか大切にということを痛感する。小田原市もこの件で文化政策が後退することがあってはならない。

今回のセンターは、バブル時期の豪華なホールから比べると、実用的でシンプルな設計になっており、ある意味で非常に機能的なホールであると思っている。建設費が折り合わないという状況をどう乗り越えるかについて、私も委員として微力ながらお力添えができればと思う。

#### 三ツ山委員

私が最初に公共に関わったのは横浜美術館の準備段階である。そこでは子どものアトリエの担当を担当し、美術館のことを知らない人や、美術に興味があると自覚していない人に向かって発信していくという、教育普及の面から携わってきた。

10年前は、指定管理者制度を導入する大きな目的は経費を削減することだったが、今日

では、市民に必要なことを提供するということが大事であり、税金の使い方も変わってきた。指定管理者として、「市民が施設を有効に活用し、自分の人生をいきいきとさせる」という提案をしているが、小田原市においても芸術文化創造センターが、人生や生活を豊かにしたり、子どもたちの自立に役立つ施設になればと考えている。

加藤市長

委員の皆様のお考えを伺い、各委員に本事業を継続してご支援頂いているということを変更して思い、感謝を申し上げます。この局面をプラスに転じるために、引き続きのお力添えをお願いします。

### 3. 委員長・副委員長選出

- ・ 整備推進委員会委員長に仙田委員、副委員長に井上委員を互選

(休憩)

### 4. 議題 (1)平成27年度小田原市芸術文化創造センター整備推進委員会について(非公開)

仙田委員

議事の進行の前に、本会の公開について図りたい。事務局から説明をお願いします。

事務局

(会議の公開について説明)

仙田委員

事務局から説明があったとおり、非公開情報を扱う場合など、整備への影響があると考えられる部分においては非公開としたい。

事務局

会議後に公開可能なものについては、議事録として公開させていただく。

仙田委員

建設計画専門分科会管理運営専門分科会の委員を決定する。

- ・ 建設計画専門分科会委員に市来委員、勝又委員、仙田委員、桧森委員、三ツ山委員を互選
- ・ 建設計画専門分科会長に仙田委員、副分科会長に勝又委員を互選

- ・ 管理運営専門分科会委員に市来委員、井上委員、梶委員、桑谷委員、松森委員、三ツ山委員を互選
- ・ 管理運営専門分科会長に井上委員、副分科会長に松森委員を互選

4. 議題 (2) 芸術文化創造センター整備について(非公開)

4. 議題 (3) 芸術文化創造センター管理運営について(非公開)

5. 閉会